

園だより

栗橋保育園

12月号

平成30年12月3日発行
発行責任者
社会福祉法人こうゆう会
理事長 竹下 成子



今月のくらし

早いもので師走を迎えました。朝夕はめっきり寒くなりました。県北は既に初霜が降りたということ。しかし晴れた日中はまだ温かく、青空に映える紅葉や色とりどりの菊の花々が秋の名残を留めています。小春日を浴びて気持ちよさそうに三輪車やボールあそびをしている子ども達です。年の瀬は気忙しいながら家族のイベントも多く楽しい季節です。

「お正月まであと何日かな」「おじいちゃん、おばあちゃんと遊べるよ」「クリスマスにはサンタさんに会えるかな」などなど心うきうき元気に通ってくる子どもたちと今月の期待通りの楽しい保育園の暮らしを営みたいと思います。

厳しい寒さや乾燥で、インフルエンザなどの感染症が流行しやすい季節です。保育園でもうがい手洗いの徹底はもちろん、食事を確りととることや、午睡の徹底など、体調の基礎を整える生活に留意します。お家で過ごす機会も多くなる季節ですので、ご家庭でも感染症の予防にご協力をお願い致します。

心身共に素晴らしい年の瀬、そして新年を迎えられる様、職員一丸となって今月も保育にあたります。

●おゆうぎ会

今年度は初の試みで八日(土)と十五日(土)の二週に渡っておゆうぎ会を行います。八日は乳児部、十五日は幼児部です。二週連続でご家庭にとっては慌ただしい二週間となりますが、会場の都合とご理解をいただきご協力をお願いします。詳細は後日お手紙にてお知らせいたします。



●もちつき大会

十九日(水)はもちつき大会。久しぶりの年内に餅をつきますので、お正月の準備をしたいと思います。子どもたち



●クリスマス会

一緒に餅をつきたい！餅を食べたい！というおうちの方は、ぜひご参加ください。

二十五日(火)園内でクリスマス会を行います。歌をうたったりゲームをしたりと楽しいことを企画しています。サンタクロースは遊びに来てくれるかな？どうぞお楽しみに！

●冬休み
十二月二十九日(土)～一月三日(木) 保育園は冬休みになります。



12月の予定

- 4日(火) 英語あそび・日舞
- 5日(水) 乳児部おゆうぎ会リハーサル
- 7日(金) 乳児部おゆうぎ会前日準備 (18時までの保育)
- 8日(土) 乳児部おゆうぎ会
- 11日(火) 科学あそび
- 12日(水) 幼児部おゆうぎ会リハーサル
- 13日(木) 日舞
- 14日(金) 幼児部おゆうぎ会前日準備 (18時までの保育)
- 15日(土) 幼児部おゆうぎ会
- 19日(火) もちつき大会
- 20日(木) 和太鼓指導
- 25日(火) クリスマス会
- 26日(水) お誕生日会
- 28日(金) 園内大掃除(18時までの保育) ~1月3日(木)
- 1月4日(金) から通常保育 (18時までの保育)

先月のくらし

●親子遠足



秋も深まる十一月。恒例の親子遠足に出かけてきました。(九日(金)) 栃木県の宇都宮動物園を予定していたのですが、あいにくの雨予報。行き先が変更となり、さいたま市の鉄道博物館になりました。鉄道にはあまり興味がない...という子でも、本物の電車を間近で、しかも車輪から見上げると結構な迫力でデモンションが上がります。リニューアルされた館内にはクラシカルな電車から近未来の電車までが展示されていて、車内に入って見学できるものもあります。引退した特急や寝台列車なども車内が見学できるので、寝ている間も電車が動いているところや食堂車で食べるところ

を想像していたかもしれないですね、親子でグループで楽しんでいました。屋外にはミニ電車が走っていて、楽しそうに乗っている親子の姿があったり、キッズコーナーではブロックやおままごと、お店屋さんごっこなど電車だけではない遊びも楽しんでいました。親子でたくさん楽しんだ一日となったことでしょう。

●七五三

十五日(木)は七五三。七歳・五歳・三歳と節目の年齢の子どもたちが健康に育ちますようにとお参りする日です。三歳・五歳とは、まさに保育園の子どものたちの年齢。子どもが主役の日です。そして八坂神社に近い分園の子どもたちが、保育園を代表してお参りに行ってきました。分園つくし組は散歩車に乗って、分園たんぽぽ組と分園すみれ組はお友だち同士で手をつないで、お散歩をしながら八坂神社まで歩いていきました。朝晩は冷え込んでいますが日中はまだ暖かい日も多い季節です。気持ちの良い秋の空気を感しながら足並み軽く楽しい散歩をしながらの参拝となりました。



今月のつぶやき

その一 すみれ組

散歩から帰ってお部屋に着くと、「せんせー!」とグーにした手を見せてきたAくん。「なあに!?」と聞いてみると、手を開いてニッコリ。「ママに...」持っていたのは小さな白い花。握りすぎて潰れてしまっていたけれど、嬉しそうに見せるAくんの表情からママへの思いが伝わってきました。袋に入れてママへのお土産に。まだ幼いけれどおうちではお兄ちゃん。ママに甘えたくて赤ちゃん返りをしてしまう時もあると思いますが、保育園ではがんばっていますよ!とママにお伝えしたいと思います。

その二 くもも組

その日のおやつは「ゴコアトースト」人気のおやつです。嬉しそうにゴコアトーストを一口かじったHくん。かじった跡を見て一言。「この形ペンギンみたい!」すると、その会話を聞いていたYちゃんも「わたしはハートだよ!」と見せてくれました。パンの形から友だちとの会話が弾む微笑ましい場面でした。子どもの想像力の豊かさに感心した場面でもあったので、日頃の保育の中でも「この形はなんだろう!?」などと、ごっこ遊びや見立て遊びなども取り入れてみようと思います。

その三 そうめ組

秋の日差しが差し込む気持ちの良い朝の出来事です。朝の支度もままならず、園庭に目を向けた子どもたち。「せんせー! たいへん! たいへん! 氷!! おすべりに氷があるよ!」と興奮ぎみに知らせにきました。「来て来て!!」とTくんとRちゃん。ついて行ってみると、すべり台に光が差し込み霜がキラキラと光っています。日頃から園庭で遊び尽くしている子どもたちだからこそ、発見し得た自然現象です。これらの発見が季節の移ろいや、それに伴う様々な事柄、光景をしっかりと受け止める力が育つていると感じました。子どもたちの見つけ出す「小さな発見」を逃すことなく一つ一つを拾い上げ、保育者もまた共感する心、感動する心を忘れてはいけなさと肝に銘じる出来事でした。

その四 さくら組

延長保育のお部屋での出来事。いつも延長保育のお部屋で色々話しかけてくれるさくら組のSくん。おもむろに「あのさあ、ぼく...Tくんみたいになりたいんだあ。Tくんってなんでも知ってるし、字も書けるし、Sゴイんだよ!」心底Tくんに惚れ込んでいる様子です。「そうなんだあ、TくんってSゴイよね。だけどSくんもすごく優しいし、先生は大好きだよ?」の言葉に、嬉しそうにはにかんでいます。友だちのことを素直に「Sゴイ!」と認められる心に感動しました。